

# 田中輝美さんと一緒に 10年後の伊野を考えよう

基調講演

## 関係人口をつくる

— 定住でも交流でもないローカルイノベーション —

ワールドカフェ

伊野の課題、強みと弱み、  
これからの伊野について

— カフェのようなリラックスした雰囲気の中で  
参加者同士気楽に話しをしましょう —

2018年2月18日(日)  
9:30-11:30

伊野コミュニティセンター

田中輝美（たなかてるみ）さんプロフィール  
ローカルジャーナリスト。島根県浜田市生まれ。1999年、山陰中央新報社入社後、報道記者として、政治、医療、教育、地域づくり、定住・Uターンなど幅広い分野を担当した。琉球新報社との合同企画「環（めぐ）りの海-竹島と尖閣」で2013年日本新聞協会賞を受賞。2014年秋、同社を退職し、フリーのローカルジャーナリストとして島根に暮らしながら、地域のニュースを記録、発信している。

<著書>

2015年3月『未来を変えた島の学校』（岩波書店）

2015年8月『地域ではたらく「風の人」という新しい選択』（ハーベスト出版）第29回地方出版文化功労賞受賞

2017年4月『よそ者と創る新しい農山村』（JC総研ブックレット）

2017年10月『関係人口をつくる-定住でも交流でもないローカルイノベーション』（木楽舎）

**まちづくりのキーワードは「関係人口」!**

関係人口とは、「住んでいなくてもその地域を応援する仲間」だと私はとらえています。人口が減り続けている地域では、暮らしている人々はどうしても「仕方ない」というような「諦め」が強くなってしまいがちです。そこで力になってくれるのが「関係人口」です。そこに暮らしていなくても、その地域をどうにかしたい、応援したいという仲間である「関係人口」が増えれば、暮らしている人々も勇気づけられ、地域が抱えている、暮らしにくいというような課題解決の手助けにもつながると考えています。

雑誌『フトコ』編集長・指出一正氏のインタビューより

主催：伊野地区自治協会 問合せ：伊野コミュニティセンター-Tel69-1526